



子宮頸がん予防接種ワクチン (HPVワクチン) の定期接種について

日本では、小学6年生～高校1年生相当の女の子を対象に子宮頸がんの原因となるHPVの感染を防ぐワクチンの接種を提供しています。

【HPVワクチンの効果】

HPVの中で、子宮頸がんを起こしやすい種類があり、HPVワクチンにより子宮頸がんの原因の50～70%を防ぎます。

【HPVワクチンのリスク】

多くの方に接種を受けた部分の痛みや腫れ、赤みなどの症状が起こることがあります。また、筋肉内注射のため、インフルエンザの予防接種等と比べて、痛みが強いと感じる方もいます。

ワクチンを受けた1万人あたり5人が重篤な症状として、重いアレルギー症状や神経系の症状が現れたことも報告されています。

ワクチンは合計3回接種しますが、1回目、2回目に気になる症状が現れたら、それ以降の接種をやめることができます。

HPVワクチンの定期接種については、厚生労働省が「副反応などの発生頻度が明らかになるまでの間、積極的な勧奨を差し控える」と決めたため、現在、村では積極的にはお勧めしていません。

ただしこれは、接種をしない方がいいということではありません。予防接種を希望する方は無料で受けることができます。

このお知らせは、あくまで定期接種として無料で受けられる予防接種に子宮頸がん予防ワクチンがあることや、その目的や効果などについて知っていただき、ワクチン接種について、お子さんと保護者がよく理解した上で決めていただくためのご案内です。

詳細については、保健福祉総合センターまでお問い合わせください。

乳がん検診（追加検診）のお知らせ 《完全予約制》

令和2年度の乳がん検診を受けられなかった方を対象に追加検診を実施します。

- ◇日 時 令和3年1月28日（木）
（受付時間）午前9時～10時、午後1時～2時
- ◇場 所 泉崎村保健福祉総合センター
- ◇対 象 者 20歳以上の女性で、令和3年3月31日までに偶数年齢に達する方
※令和元年度、令和2年度に乳がん検診を受診していない方が対象です。
- ◇申込方法 令和2年12月15日（火）～12月25日（金）までに保健福祉総合センターまでお申し込みください。定員になり次第申し込みを終了します。

詳しくは、配布されたチラシをご覧になるか、お問い合わせください。

＜申込み・問い合わせ先＞ 保健福祉総合センター ☎ 5 4 - 1 3 3 5

